



令和6年度 文京区立駕籠町小学校 学校経営方針

令和6年4月11日
校長 宮本 達也

kagomachi 2024 子供のための学校であること

校長としての取組み

- 0 日々、子供とともに
- 1 日常的な危機管理意識の維持
 - ・「大丈夫だろう」×
 - ・「わかっているはず」×
 - ・「まあいいか」×
 - ・報告・連絡・相談・確認の徹底
- 2 教員である前に社会人として
 - ・礼節ある態度 ・相手意識 ・マナー
 - ・服装 ・率先垂範 ・凡事徹底
- 3 日々の授業の充実と指導力向上への努力への支援
 - ・改善への努力を怠らない教師の育成
 - 「これしかない」「これでいいのだ」×
 - ・OJT、off-JT
 - ・学ばざる者に、教える資格なし
- 4 落ち着いた学習環境の整備
 - ・黒板・黒板下、床等教室及び校内環境の整備
 - ・静かな教室づくり
 - ・仕事の効率、集中力、生活レベルUP
 - ・日々「仕分ける」「捨てる」「しまう」
- 5 公費及びコスト意識の高揚
 - ・子供の側に立った積極的活用と管理
 - ・異学年との情報交換
- 6 学校における業務の効率化
 - ～働き方改革への取組み～
 - 教育活動や業務の目的、優先順位を考える
 - ① やらなければならないこと
 - ② やったほうがいいこと
 - ③ やらなくてもいいこと → 検討、改善
 - ④ やらないほうがいいこと → やめる
 - 質を低下させず、スリム化する
 - ICTの活用

教育目標

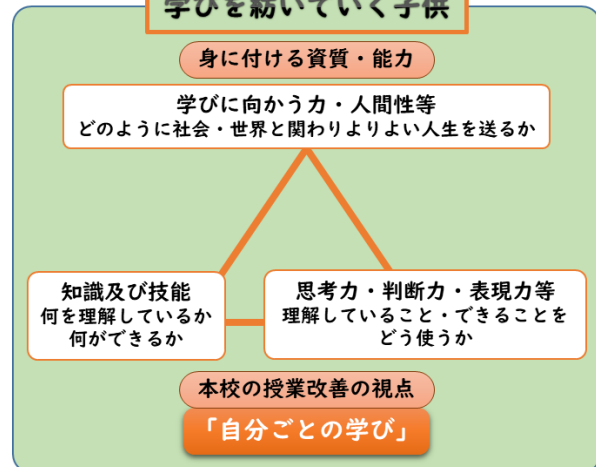
自己を確立し、一人一人が輝き、心豊かに 未来を拓く駕籠町の子供を育成する。

- ともに学ぼう より深く 知性を高め個性豊かな児童
- ともに伸びよう よりたくましく 明朗で意志の強い健康な児童
- ともに歩もう 力あわせて 社会性を身に付け実践力のある児童

確かな学力の向上

- 1 問題解決の過程を重視した授業
- 2 個の学びと集団の学びのバランス
- 3 確実な見取りの積み重ねと評価
- 4 教科横断的な視点

学びを紡いでいく子供



よりよい授業の基本

授業規律（ルールとマナー）
聞こえる声で応答（他者意識）
ノート指導（振り返り・下書き）
姿勢の保持
一度では身につかない。継続する。

体力向上への取組み

- 1 運動の日常化・運動したくなる環境づくり
- 2 「めあてをもち振り返りを生かす体育科」への授業改善
- 3 食育、保健指導・保健学習の工夫
- 4 望ましい生活習慣の定着化

豊かな人間性の育成

- 1 命と心の教育の推進
- 2 いじめ「見落とし」「見過ごし」「見逃し」ゼロ
- 3 不登校の未然防止・早期対応
- 4 「ならぬことは、ならぬ」の徹底
- 5 あいさつの励行

かかわる力

- 1 自己理解と自己有用感
- 2 個々の困り感や願いへの適切な対応
- 3 「困った子」ではなく「困っている子」
- 4 「思考」を促す学級づくり

特色ある教育活動

- 1 日本の伝統文化に親しむ体験活動
- 2 地域を生かした教材の開発と授業実践
- 3 「自助・共助」の意識の醸成
- 4 危険予測回避能力を育む安全教育

教員の指導力

- 1 「教える授業」から「引き出す授業」へ
 - ・教師は「ファシリテーター」であることを心がけましょう。
 - ・子供が主体的に学ぶことができる授業を構築しましょう。
 - ・ICTを活用し、ノウハウを学年で共有しましょう。
- 2 全ての時間での本時の「ねらい」の提示と「振り返り」の重視
 - ・45分で何を身に付けるのか、なぜこれを学ぶのか、子供にも目標が分かるようにしましょう。
 - ・1時間で何を学び何が身についたのか、子供に振り返らせ表現させるようにしましょう。
- 3 自力解決できる環境整備
 - ・児童が自力で課題に取り組めるよう環境（資料、掲示、仲間など）を整えましょう。
- 4 学習環境の有効活用
 - ・教室、廊下の掲示物は、壁面を埋める飾りではありません。意図的に子供の育ちと歩みが実感できる工夫をしましょう。
- 5 学習規律の明示・授業規律の浸透
 - ・駕籠町スタンダードを徹底しましょう。
 - ・学級内のルールを明確に示し、子供にそのルールを守らせましょう。
- 6 どの子も同じ善悪基準
 - ・ほめるときは、しっかりとほめ叱るときは、しっかりと叱りましょう。
 - ・見て見ぬふりは、いい結果を生みません。
 - ・一時的な感情で怒らず、一呼吸おいて叱るようにしましょう。
- 7 日常からの授業改善と校内研究
 - ・教師の指導力向上には、日常の授業の一工夫を積み重ねることが最も大切です。
 - ・一人一人が子供の学びに責任をもちましょう。じっくりと1つの教材と自分自身に向き合い、その成果を常に公開しましょう。
- 8 授業公開とOJT推進
 - ・学年を越えて学び合う教師集団であれ。
 - ・準備をして臨んだ授業が必ずしも「いい授業」とはなりません。準備をしないことは、論外です。

教職員の組織力

- 1 学校経営方針の具現化
 - ・自分なら何ができそうか、何をするのか、常に考え具体的な職務行動で表しましょう。
- 2 組織としての斉一性
 - ・「やりましょう」といったことが同じベクトル・同じレベルで「やれる」ようにしましょう。
 - ・学年・組織でよく相談して、教員によって対応に違いが出ないようにしましょう。
- 3 組織の一員としての意識と機動力の強化
 - ・「私は何者か」を常に意識してかわり、組織を活性化させましょう。
- 4 教育公務員としての服務の厳正
 - ・服務事故防止研修を実施するのは、職員が服務事故を起こしてしまっは、守れなくなるからです。
- 5 保護者・地域との良好な関係づくり
 - ・礼節ある話し方を心がけましょう。笑顔を忘れず。
 - ・丁寧な対応を心がけましょう。迷ったらより丁寧な手段を選びましょう。

教職員の「カキクケコ」

- カ：感動と感謝の心
 - ・学校は、子供に、保護者に、地域に「感動」を与える
- キ：絆
 - ・職員同士は単なる仲良し集団でなく、ソウルメイト
- ク：苦労を糧に、苦情を知恵に
 - ・苦情は宝の山
- ケ：健康第一
 - ・エネルギーが有り余る子供を受け止める健康を保持・増進
- コ：子供のために
 - ・厳しい中にも、受容的態度を大切に

駕籠町小をこんな学校に

- 1 大人も子供も学び続け、進化し続ける学校
- 2 落ち着いた学習環境を保っている学校
- 3 振り返りから、改善を生み出せる学校
- 4 子供に夢や期待をもたせる学校
- 5 教職員も子供も生き生きと輝く学校